

第40回 三輪車安全運転三重県大会参加者募集のお知らせ!

～あなたの運転技術を試してみませんか?～

参加費
無料!

二輪車の安全技術とマナーの向上を図り、交通事故防止のため、毎年開催しています。昨年はベテランから初めての方まで総勢48名の選手が参加し、法規・技能走行で腕を競いました。今年は是非あなたの安全運転技術を試してみませんか。優勝者は全国大会への出場も可能です。

- 主催：(財)三重県交通安全協会 三重県二輪車安全運転推進委員会
- 後援：三重県警察本部 三重県二輪車安全普及協会
- 協力：(一社)自販連三重県支部 三重県軽自動車協会
- 開催日時：平成24年6月3日(日)
- 開催場所：三重中央自動車学校

(所在地) 津市高茶屋4丁目48番8号
(TEL) 059-234-2175

- 参加クラス：①若年者クラス(20歳未満・50cc以下)
- ②女性クラス(50cc以下)
- ③一般Aクラス(126ccから400cc以下)
- ④一般Bクラス(400ccを超えるもの)

(但し全国大会の競技車両は1,100ccです。)

- 競技内容：法規走行(交差点の通行・合図・安全確認等)
- 技能走行(スラローム・千鳥走行・一本橋走行等)



(昨年の三重県大会)

各クラス上位者から、8月4日(土)・8月5日(日)鈴鹿サーキットで開催される全国大会への三重県代表選手を選考します。サーキットを目指してみませんか? たくさんのご参加お待ちしております!



詳しくは、(財)三重県交通安全協会
TEL 059-228-9636 へお問い合わせください。

交通安全協会は、交通事故をなくすため、幅広い活動を行っています。

交通安全協会の活動に御協力をお願いします。

交通安全協会は一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの方の命を守るために活動しています。

お住まいの地域で悲惨な交通事故をなくすために、協会の活動にぜひ御協力をお願いします。



会員の皆様へ協賛店サービス

会員の皆さんが、県内各地(一部県外もあり)の協賛店で割引などのサービスを受けられる特典があります。「会員の店ガイドブック」のほかに、携帯サイトアドレスおよびQRコードからも検索できますので、ぜひご利用ください!

【携帯サイトアドレス】

<http://www.mie-ankyo-mise.com/mobile/>



対応携帯機種であれば、
ここからもアクセスできます。



【QRコード】



(財)全日本交通安全協会作成による「交通安全ルールの遵守・マナーの向上等のためのロゴマーク」です。

交通安全みえ

2012/早春号 No.176

発行所

(財)三重県交通安全協会
三重県交通安全活動推進センター
(三重県公安委員会指定)

〒514-0004
津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
TEL 059-228-9636
URL <http://www.mie-ankyo.com/>

北から南から ～各地区の活動～

交通安全協会は交通事故をなくすための幅広い活動を行っています。



自転車安全利用対策活動

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 新入園、小・中学校への交通安全資材・器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

わたしはシンボルマスコット“ストッピー”です。



卒園児に対する交通安全教室



自転車利用時の事故防止活動



交通安全の日に伴う街頭活動



自転車に反射材取り付け指導



交通安全教室の開催



死亡事故現場における緊急活動



S・Sデーに伴う啓発活動の実施



ハンドルキーパー運動推進モデル事業所委嘱式



死亡事故に伴う再発防止対策の実施



反射材着用広報活動



交通安全指導と反射材交付



カーブミラー清掃で交通安全啓発



警察音楽隊演奏会、高齢者自転車教室



魔法のキーホルダー工作教室の開催



保育所で交通安全教室



腹話術で交通事故防止呼びかけ



女性部による人形劇・紙芝居の実施

交通安全協会の活動は、皆様からのご支援・ご協力により、支えられています。

なくそう子どもの交通事故! ～子どもの交通事故～

子どもたちが元気に幼稚園や小・中学校に通う姿は可愛らしく見ていてうれしいものです。そんな子ども達が事故に遭わないためにはどうすればいいのか考えてみましょう。

子どもの視野・・・ご存じですか？

子どもの交通事故は歩行中におきることが多く、その中で最も多いのは「飛び出し事故」です。子どもは視野が狭く、大人の水平方向の視野が150度とすると子どもの視野はわずか90度、垂直方向では大人で120度なのに対し、子どもは70度。つまり、大人には見えていても子どもには見えていない場合が多いと考えられます。

一度、子どもの目線に合わせて周囲を見てみましょう。通常見えているものも見えないところが出てくるはず・・・。

また、子どもは、背後からの音の知覚が低く、遊びに夢中になっていたり、興味があるとそのことに夢中になって周りの危険が察知できなくなることもあります。



車は急に止まれない! 大人は身近なお手本です

車が時速40kmで走っている場合、運転者が「危ない!」と思ってからブレーキをかけて車が完全に止まれるまでの距離は一般的に22mの距離が必要です。

これは、学校のプールより少し短いくらいの距離。つまり、運転者が危険を感じても車は急には止まれません。

けれども、小さな子どもたちは車は急に止まれないことを知らずに危ない時には車が止まってくれるものと思いこむこともあります。

また、子どもは大人の真似をします。黄信号から赤信号への変わり目に速度を上げ、交差点を通過しようとした事はありませんか？

大人は子どもにとって身近なお手本です。正しい交通安全行動をとることが一番の交通安全教育といっても過言ではありません。

三重県内の子どもの交通事故

区 分	23年	22年
人身事故件数	3 6 9	4 3 2
死 者 数	2	3
負傷者数	8 5 9	9 9 7

意外と多い? 車両乗車中の事故

子どもは体が小さいため、衝突時にシートの間などをすり抜けやすく、車外放出者の6人に1人は15歳以下の子どもというのが実態です。

また、チャイルドシートを着用していない子どもは、着用している子どもに比べ、およそ2.2倍も死亡したり、重傷を負いやすくなります。

そして、時にはシートベルトを嫌がるからと言って抱っこをされている方も見えますが、時速40kmで走行中にもしも衝突事故を起こしてしまった場合、こどもは体重の30倍以上もの重量になって投げ出されるため大人の両腕でも支えることができません。

必ず体格に応じたチャイルドシートを着用させましょう。

子どもを交通事故から守るためには、小さい頃から道路での危険な行動や、交通ルール・マナーについて繰り返し教えることが大切だと思います。

子どもに接する機会の多い保護者の皆様は日常の指導者となりますが、私たち交通安全アドバイザーも「危ない!」「注意下さい!」など、抽象的な言葉では理解できない子どもたちに「なぜ危ないのか?」「どう注意をしたらよいのか」・・・安全教育の原点に戻り、基本に忠実に、また、子どもたちの目線に合わせた交通安全教育を行っています。

この機会に一度ご家庭でも交通安全について話し合ってみてください。

三重県交通安全アドバイザー第二班長 倉田 智恵美

春の全国交通安全運動

●運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止

新入学児童に交通ルールの理解と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、次代を担う子どものかけがえない命と交通事故死者数全体の約半数を占める高齢者を交通事故からまもりましょう。

4月6日(金)～4月15日(日)

4月10日(火)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

●運動の重点

- ①自転車の安全利用の推進
- ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③飲酒運転の根絶



エコドライブをするために ～春先の快適な走行を目指して～

この季節は、新入学児童や就職などで子どもたちや初心者ドライバーが増え、気候も良く人の動きも活発になり、交通事故が多発しやすい時期ではないでしょうか。

自分にとっては通い慣れた道であっても、子どもたちや初心者ドライバーにとっては、通学路や通勤経路など周辺の道路事情がよく分からないので、初心者マークの車や子どもの動きには十分注意をして、思いやり運転に心掛けていただくようお願い致します。

特に、長距離ドライブでは、道路交通情報を活用し、時間に余裕を持って出かけることで、

- 優しい発進
- 車間距離に余裕を持った交通状況に応じた安全な走行
- エンジンブレーキの積極的な使用
- アイドリングストップなどを心掛ける

ことなどでエコで安全な運転が出来るのではないのでしょうか。

また、花粉が飛び交う季節でもあり、花粉症の方にとっては、大変辛い時期であります。薬を服用された時の運転には十分な注意をしたいものです。

安全運転は交通事故防止につながるだけでなく、省エネ、環境に優しいエコドライブにもつながると思います。

三重県軽自動車協会 業務第二課長 木村 英介



平成24年1月16日・17日の両日第52回交通安全国民運動中央大会が開催されました。
第1日目は、グランドヒル市ヶ谷において「地域・家庭部会」「交通安全教育部会」「企業部会」の三部会に分かれ交通安全対策について討議をする分科集会が開催されました。
第2日目は、日比谷公会堂において本会議が開催され、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、全国から2,000人が参加する中、交通事故犠牲者に対する黙祷、野田総理大臣のご挨拶の後、交通安全賞章など各種の表彰や交通安全年間最優秀入選者に対する内閣総理大臣賞の授与が執り行われました。
多年にわたり、交通安全のために献身的な尽力や、交通事故の防止と交通秩序の確立に功績を残された方々に敬意を表し、心からお祝いを申し上げます。
本大会における三重県を受賞された皆様(敬称略)及び団体は次のとおりです。



第52回 交通安全国民運動中央大会

交通安全栄誉章

●緑十字金章 「交通安全功労者」
伊藤悦代(桑名)
大西久之輔(松阪)

●緑十字銀章 「交通安全功労者」
島村さわ子(桑名)

門脇孝(いなべ)
服部武士(四南)
和田幹晃(津南)
桑山茂之進(松阪)
山村一男(伊勢)
山本勝康(鳥羽)
川崎敬昭(名張)
野中昭(安管)

交通安全優良団体等

●交通安全優良団体
リケンテクノス株式会社
三重工場(亀山)

●交通安全優良事業所
石原エンジニアリング

パートナーズ株式会社
中部電力株式会社 伊勢営業所
志摩サービスステーション

●交通安全優良学校
松阪市立港小学校

●優良交通安全協会
伊勢地区交通安全協会

●優良安全運転管理者協議会
尾鷲地区安全運転管理協議会